

別紙様式3

2019年度 第2回 地域から信頼され地域に貢献できる人材育成推進協議会 議事要旨

日 時	令和元年11月21日(木) 13:30~15:00
場 所	岐阜県立中津商業高等学校 会議室
出席者	<p>(委員)</p> <p>園原 和博 中津川市 商工観光部長(市長代理)</p> <p>吉村 孝志 中津川市 市議会議員</p> <p>粥川 茂和 中津川市 市議会議員・同窓会会長</p> <p>本多 弘尚 中津川市 教育長</p> <p>久木 利通 トーキョー工業(株) 代表取締役</p> <p>岩久 義和 中津川市立第一中学校 校長</p> <p>安藤 隆生 P T A会長</p> <p>(学校側)</p> <p>原 祐一 校長</p> <p>安藤 範和 教頭</p> <p>丸山 裕 教務主任</p> <p>丹羽 浩徳 渉外部長</p> <p>兼松 美穂 商業科主任</p> <p>熊谷 秀太 経済コース長・青年部代表</p> <p>西田 茉由 商業科実習助手(記録)</p>
議事概要	<p>1 地域連携による活力ある高校づくり推進事業に係る取組の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の現状について <ul style="list-style-type: none"> 各種検定試験結果、就職内定状況、部活動成績について ・ふるさと教育の実践について <ul style="list-style-type: none"> 経済コースの「市内探究・高校生ガイド」「おやきの新作と販売」地域の伝統のお菓子「からすみ」の研究や地域素材を活用した「スムージー」の制作と販売。 会計コースの「ふるさと納税返礼品」に関わる提案や中学生への「簿記に関する出前講座」の実施。 流通コースの地域の素材を生かした「ジェラート」の新作の提案と販売。 活用・開発コースのプログラミング講座の実施。 地域イベントへの参加状況。 国際化推進事業に係る報告。 <p>2 事業報告に係る協議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内就職内定者数のうちの市内就職者は何人か。県内＝中津川市内と考えてもよいのか。 ・国際化推進事業(タイ研修)へ行き、帰ってからの生徒たちの様子はどうか。 ・国際化推進事業の宿泊先はどこか。中学生はホームステイしており、現地の生活を直に感じることができる。また、行く時と帰ってくる時の顔つきが変わっていて、多くを学んできたのだと感じる。自分たちがいかに贅沢な暮らしをしているのかを知ることができるのは財産となる。 ・学校での取組を知ることができた。多言語化の重要性はとても痛感するところである。市内からも多言語化や観光ガイドの必要性の声も上がっているので、観光課と

商業で協力していきたい。

- おやき（豚キムチ・さつまいも）を試食した感想については、
美味しい。
味を知れば買うが、初見の値段設定が相応しいか検討が必要。
限定的な販売ではなく、どこかの店舗で販売できるといいのではないか。
- なぜ、からすみについて取り組もうとしたのか。
⇒昔は家庭でからすみを作っていた。子どもの頃は、年に何回かしか食べられない、
待ち遠しいお菓子だった。
- 国際化推進事業をもっと推進して、文化に触れることや日本のありがたみを知ってほしい。
- 今の中津商業の取組は、昔の中津商業生から考えると夢のような取り組みである。
OBとして大変うれしい取り組みばかりである。
- 今の子は体験不足であると感じる。学校で取り組めることは大変よい。小学校でも楽しむ目的で食べ物や創作物を作ったりする。しかし、高校生はそれらを作った後にその内容や成果物を地域に発信することができる。このような取組をすることで、子どもの進路に影響が与えられれば意味のある活動になるのではないかと感じる。
- 中津川に対して愛着が持てるような生徒を育てていきたい。
地域とともに成長していける学校づくりを目指していく。